

幼稚園の先生へ

特別支援教育を進めるための 6つのポイント

1. 発達障害を含む障害について理解をしましょう。
2. 幼児の出すサインへの気づきを大切にしましょう。
3. 園内委員会を活用しましょう。
4. 遊び等の活動において支援や配慮を工夫しましょう。
5. 個別の教育支援計画の策定や個別の指導計画の作成に取り組みましょう。
6. 保護者の思いを考え、適切な支援をしましょう。



平成 20 年 4 月
群馬県教育委員会



特別支援教育を推進するために

特別支援教育は、小・中学校だけでなく、幼稚園を含むすべての学校で進めるものです。幼稚園で特別支援教育を進めるための6つのポイントを作りました。活用してください。

1. 発達障害を含む障害についての理解

発達障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む。）等の特性を理解することが大切です。

2. 幼児の出すサインへの気づき

幼児の出しているサインに気づくことが第一歩です。「どうして。」「変だな。」と思ったら、つまりきや困難をその幼児の視点でとらえましょう。

3. 園内委員会の活用

担当が一人で問題を抱え込まないために、支援の目標や内容を全職員で共通理解する場として特別支援教育の園内委員会を活用してください。

4. 遊び等の活動における支援や配慮の工夫

教室等の学習環境、活動の組み立て、個別の指導、遊具、用具、素材を工夫して、障害の特性に応じた支援や配慮をしましょう。

5. 個別の教育支援計画の策定と個別の指導計画の作成

必要に応じて、家庭、医療、福祉等の関係機関と連携した支援の計画や個々の幼児の障害の状態等に応じた指導の計画を作り、引き継ぐことが大切です。

6. 保護者の支援

保護者の思いは様々です。まず保護者の思いを想像しましょう。保護者の話を聴いて、共に考えることが大切です。

発行者

群馬県教育委員会事務局特別支援教育室

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL.027-226-4651